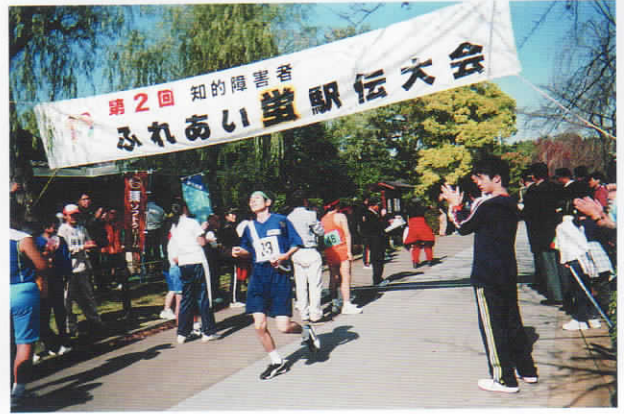


第2回
2006

参加チームが52チーム（369名）と前回より5チーム増え、宣言タイムも新たに導入され、練習の成果も顕著にあらわれタイムも全体的に底上げされました。それぞれの地域でいかに練習をつみ今大会に望んでいるのかが、はっきりと現れ大会運営にも力が入りました。





第3回
2007

雨天の中での開催にもかかわらず参加チームもさらに増え、Aグループ（27チーム）
Bグループ（39チーム）計66チーム（457名）の選手団が堂々と、千波湖畔を降りし
きる雨の中を走り抜ける事ができました。
この経験がどんな困難でも乗り越えられる精神力につながるのではないのでしょうか。





第4回
2008

今大会は栃木・千葉・埼玉の各県からの参加があり年々広がりを見せ、Aグループ（29チーム）Bグループ（45チーム）計75チーム（500名）が千波湖畔をさわやかな秋風の中、タスキをつなぐことができました。今大会に向け練習を重ねてきた結果がはっきり現れているように感じられた大会でした。



